

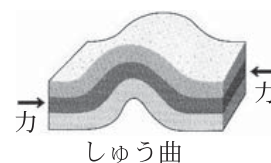
〈解答〉

- ① (1) ① 風化 ② 侵食 (完答)
 (2) エ
 (3) ① イ ② イ (完答)
 (4) ボーリング (カタカナのみ可) (調査)
 (5) しゅう曲
 (6) オ

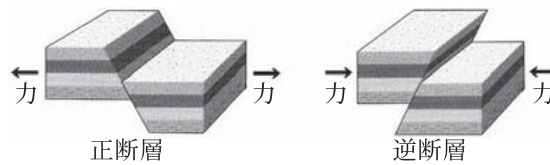
配点 各1点 6点満点

〈解説〉

- ① (1) 地表に出ている岩石が、太陽の熱による気温の変化や水のはたらきなどによって、長い年月の間に表面からボロボロになってくずれていくことを風化という。また、風化によってもろくなった岩石が、流水や風のはたらきなどによって削られていくことを侵食という。侵食によってできた土砂は、流水のはたらきによって下流へと運搬され、海底や湖底に堆積する。なお、土砂の運搬において、土砂どうしが互いにぶつかり合ったり、川底などを転がる際に角がとれるので、土砂をつくる粒は丸みを帯びていることが多い。
- (2) 土砂については、その粒の大きさ（直径）によって3種類に区分され、2 mm以上のものをれき、 0.06mm ($\frac{1}{16}\text{mm}$) ~ 2 mmのものを砂、 0.06mm ($\frac{1}{16}\text{mm}$) 以下のものを泥としている。
- (3) 凝灰岩は、火山灰や軽石などの火山噴出物が堆積して押し固められたものである。このことから、2 図中に見られる凝灰岩の層が堆積した当時には、付近で火山の噴火などの火山活動があったことが推測できる。なお、火山灰などは上空から降ってくるため、凝灰岩の層は陸上で堆積することもある。
- (4) ボーリングとは、地下のようすを調べるために行う作業で、長いパイプを機械で地面に打ち込んで深い穴をあけ、地下のものをとり出すことである。このようにして得られたパイプ内のサンプル（試料）のことを、ボーリング試料という。
- (5) 地層を両側から押す力が作用すると、右の図のように、地層がおし曲げられた（波打った）しゅう曲ができることがあり、地層が折れ曲がるほどのしゅう曲においては、地層の上下の逆転が起こ



ることがある。また、大規模なしゅう曲ができると、山脈が形成されたりもする。このようなしゅう曲以外にも、地層に力が作用することで地層が切断されてずれることがあり、このような地層のずれを断層という。下の図のように、地層を両側から引く力が作用してできた断層を正断層といい、地層を両側から押す力が作用してできた断層を逆断層という。



(6) A～Dの地点の地下において、凝灰岩の層の上端がある標高は、

A地点 … $65 - 20 = 45$ [m]

B地点 … $55 - 10 = 45$ [m]

C地点 … $65 - 20 = 45$ [m]

D地点 … $60 - 15 = 45$ [m]

でいずれも等しいことから、地層はどの向きにも傾斜していないことがわかる。